令和３年度　さいたま市立指扇中学校　学校関係者評価書

学校関係者評価委員長　佐久間　健志　㊞

１　学校関係者評価の実施体制

（１）構成人数　１０名

（２）実施回数　３回（第１回、２回は実施　第３回は書面開催）

２　学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

・生徒が新型コロナウイルス感染拡大の状況下でも落ち着いて授業や学校生活、部活動と取り組んでおり、素晴らしい。

・朝の登校時など挨拶が良くできている。

・今年度の授業時数等は緊急事態宣言等の中で、例年通りこなせたのか。

・公民館でも今後ＳＤＧｓに関連した活動を行いたいと考えているが、中学校では現在どのような取組がなされているか聞きたい。

・安全教育の観点で考えると中学生の自転車での登下校のマナーが気になる。平気で右側の車道を走行している生徒もおり、今後は、しっかりとした指導が必要なのではないか。

・ＨＰが充実していて、大変すばらしい。今後は生徒が発信していくような、企画があっても面白い。

・今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、指扇中では民生委員との連絡協議会が実施できなかったが、何らかの形で、中学校からの情報が欲しかった。

学校関係者評価を受けた学校の対応

・引き続き生徒が「自信と誇りを持てる」学校づくりを教職員やＰＴＡ、地域と連携を図りながら取り組んでいく。

・土曜授業の実施、長期休業日の短縮や学校行事がカットされたことで、例年並みの授業数の確保ができた。

・現在、第１学年の「総合的な学習の時間」でＳＤＧｓと関連させた、学習を行っている。また、生徒会の活動の中にＳＤＧｓに触れ、募金活動を行った結果、例年よりも多くの募金が得られるなど、その成果がみられた。

・安全指導では本校での大きな課題の一つである。今年度、西警察署から交通安全マナーアップ校として、選んでもらっていたが、今年度新型コロナウイルス感染拡大の影響で、１年間何の取組もできなかった。次年度も引き続き、マナーアップ校を継続していく予定なので、計画的にできることを行っていく。また、ＰＴＡと協力をし、ヘルメットの着用や見守りなどを強化し、生徒の交通ルールに関する意識を高めていきたい。

・ＨＰについては容量の問題もあるが、地域や家庭に見ていただけるように引き続き、努力していく。

・民生委員との連絡協議会については、感染拡大防止の観点から実施できなかったことは御理解いただきたい。しかしながら、学校として民生委員の方に情報等を共有できる方法を検討すべきであった。今後、どのようなことができるか改めて検討していきたい。

さいたま市立指扇中学校長　　大河内　範一　　印